

本資料は 8 月 3 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください

<https://www.adeccogroup.com/our-group/media/press-releases/adecco-group-q2-2023-results/>

2023 年度第 2 四半期決算発表

売上高が堅調に成長、市場シェアがさらに拡大、コストを適切に管理

[2023 年 8 月 3 日 スイス・チューリッヒ]

2023 年度第 2 四半期ハイライト

- 営業日数調整後の既存事業売上高¹は前年同期比 4% 増；Adecco の業績は好調で、すべての地域で成長し、売上高は前年同期比 5% 増、Akkodis のコンサルティング事業の売上高は前年同期比 12% 増、LHH の Career Transition 事業の売上高は前年同期比 10% 増
- 今四半期も市場シェアが拡大；Adecco の相対的な売上高は 800bps 増
- 粗利率は 20.7%、現在のビジネスミックスを反映し、既存事業では 50bps 減
- 一時的要因を除く販管費は、一般管理費の削減と生産性の向上により、売上高の 17.7% と、22 年度第 2 四半期の 17.9%、23 年度第 1 四半期の 18.4% から減少
- 一時的要因を除く EBITA 利益率は 3.1% と堅調；FESCO JV の収入のタイミング的影響を除くと、基本ベースでは前四半期比で 30bp の改善
- 一般管理費削減目標の達成は順調；年末のランレートの見込みは 6,000 万ユーロ
- 営業利益は 1 億 1700 万ユーロ、前年同期比横ばい
- 基本 EPS は 0.37 ユーロ、調整後 EPS は 0.67 ユーロ

Adecco Group CEO のデニ・マシュエルは次のようにコメントしています。

「当 Group は、今四半期も売上高の増加が加速し、市場シェアの拡大を達成しました。Adecco は全地域で競合他社を上回る成長を達成し、利益率も向上した。Adecco US の業績は前四半期に続いて改善し、再建の兆しがさらに見えてきました。LHH は、Career Transition 事業と EZRA 事業が記録的な業績を達成し、GBU 全体で収益性が強化されました。Akkodis は、コンサルティング事業で力強い成長を遂げ、米国での業績も好調に推移しましたが、人財派遣事業は技術系分野の雇用縮小が成長の足かせとなりました。事業統合の進捗状況とシナジー効果の獲得は順調に進んでいます。Group 全体では生産性向上とコスト規律を引き続き推進しており、今四半期の販管費は減少し、我々がコミットしているコスト削減目標の達成も順調に進んでいます。今後については、マクロ経済環境が厳しいことを認識しつつも、当 Group 独自のポートフォリオの強さと業績重視のたゆまぬ努力に牽引され、前向きな勢いがあると見ています」



< 主な数値 >

2023 年度第 2 四半期

単位：100 万ユーロ	2023 年度 第 2 四半期	2022 年度 第 2 四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業 成長率
売上高	5,998	5,938	+1%	+4% ¹
売上総利益	1,240	1,254	-1%	+1%
EBITA 利益 (一時的要因 ² を除く)	184	205	-11%	-8%
営業利益	117	124	-6%	0% ³
当期純利益 ⁴	62	77	-19%	
Basic EPS	0.37	0.46	-20%	
Adjusted EPS ²	0.67	0.85	-21%	
粗利率	20.7%	21.1%	-40bps	-50bps
販管費の対売上高比率 (一時的要因 ² を除く)	17.7%	17.9%	-20bps	
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	3.1%	3.5%	-40bps	
営業活動によるキャッシュフロー	+80	-81	+161	
キャッシュコンバージョン比率 ²				
EBITDA への純有利子負債 (一時的要因 ² を除く)				

特に断りのない限り、本リリースに記載されている成長率はすべて前年同期比です

*1：営業日数調整後の既存事業売上高ベース

*2：本リリースにおける Non-GAAP 指標の使用に関する詳細は、2021 年版年次報告書の「財務情報」および「追加情報」をご参照ください

*3：恒常通貨ベース

*4：Adecco Group の株主に帰属する

【本件に関するお問い合わせ】

Adecco Group Japan 広報部

問い合わせフォーム